本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIO

P

TWINCEPT

ワールドタイム機能／データバンク機能／アラーム・時報／タイマー／ストップウオッチ

2397 * JA

取扱説明書

2397

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして、誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。

なお、この説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

本機のお取り扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることは一切ありません。本機の特長、機能を十分に使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでお試しください。

◆本機の特長◆

●アナログ＆デジタル時計

アナログ時計の文字板にデジタル表示が浮き上がります。
デジタル表示を消して、アナログ時計としても使えます。

● EL バックライト

暗いところでもボタン１つで表示を明るく照らします。

●ワールドタイム

世界 27 都市（29 タイムゾーン）の時刻がわかります。

●データバンク機能

最大 20 件の名前＆電話番号を記憶します。

●アラーム・時報報知

任意の時刻にアラームを鳴らすことや、毎正時に時報を鳴らすことができます。

●タイマー

1秒単位で24時間までの減算計測を行ないます。

●ストップウオッチ

1/100秒単位で23時間59分59秒99（24時間計）まで計測できます。

安全上のご注意

絵表示について　この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ **危険**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ **警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。
（左の例は感電注意）



⃠ 記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。
（左の例は分解禁止）



● 記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。
（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠ 警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。



※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。

電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

⚠ 注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

① 金属・皮革に対するアレルギー
② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③ 体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



データ控えを作ってください

記憶させた内容は、備忘録やノートなどに書くなどして、本機とは別に、必ず控えを残してください。
本機の故障、修理や電池消耗により、記憶内容が消えることがあります。



⚠ 注意

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行なってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

目次

安全上のご注意 表紙裏面

デモ（デモンストレーション）機能について 5

ライト点灯について 5

操作のしくみと表示の見方 6

ワールドタイムの使い方 8
- ワールドタイムとは …… 8
- 都市のサーチ …… 8
- サマータイム（DST）について …… 9
- サマータイムのON／OFF設定 …… 9
- ホームタイムとワールドタイムの入れ替え …… 9
- 都市コード一覧 …… 10

データバンク機能の使い方 11
- データバンク機能とは …… 11
- データを入力する …… 11
- データの呼び出し …… 13
- データの修正／消去 …… 14

アラーム・時報の使い方 15
- アラーム時刻のセット …… 15
- 鳴っている電子音を止めるには …… 16
- モニターアラーム …… 16
- アラーム・時報のON／OFF設定 …… 17

タイマーの使い方 18
- タイマーの種類 …… 18
- タイマーの選び方 …… 18
- タイマー時間のセット …… 18
- タイマーの使い方 …… 20
- タイムアップになると …… 20
- 鳴っている電子音を止めるには …… 20

ストップウオッチの使い方 21
- 計測のしかた …… 21

時刻・カレンダーの合わせ方 22
- デジタル部時刻の合わせ方 …… 22
- アナログ部（針）の合わせ方 …… 24

製品仕様 …… 28
ご使用上の注意 …… 29
お手入れについて …… 31
電池交換について …… 31

■ デモ(デモンストレーション)機能について

本機は工場出荷時に「デモ(デモンストレーション)機能*」に設定されています。
デモ機能中はライト点灯以外の通常のボタン操作はできません。

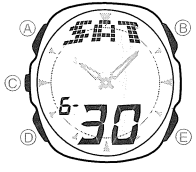
*「デモ機能」とは、時計の機能の一部を自動的に表示するものです。

●デモ機能の解除

Ⓑボタン以外のいずれかのボタンを押します。

●デモ機能の設定

Ⓓボタンを1～2秒間（確認音が鳴るまで）押し続けます。

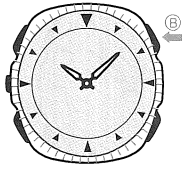


■ ライト点灯について
（暗い場所で表示を見るには）

どのモードでも、Ⓑボタンを押すと文字板が約1.5秒間発光します。

➡暗いところでも、表示を見ることができます。

※針の自動修正中は、Ⓑボタンを押しても発光しません。



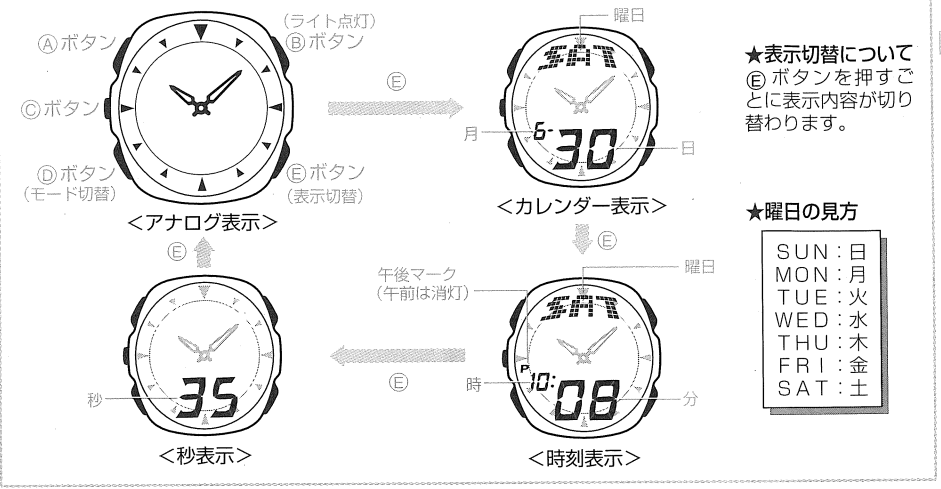
〈注意事項〉

- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- 発光中にアラームなどの電子音が鳴ると、発光を中止します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これは発光のためにELパネルが振動するときの音で、異常ではありません。

操作のしくみと表示の見方

Ⓓ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。
※各モードで何らかのボタン操作を行なった後に Ⓓ ボタンを押すと、直接時刻・カレンダーモードに戻ります。
※データバンクモード、アラームモード、針セットモードのまま2～3分すると、自動的に時刻·カレンダーモードに戻ります。

時刻・カレンダーモード



★表示切替について
Ⓔ ボタンを押すごとに表示内容が切り替わります。

★曜日の見方

SUN	日
MON	月
TUE	火
WED	水
THU	木
FRI	金
SAT	土

ワールドタイムモード



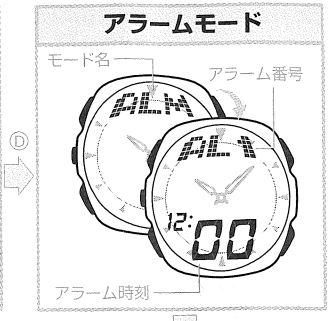
Ⓓ

データバンクモード



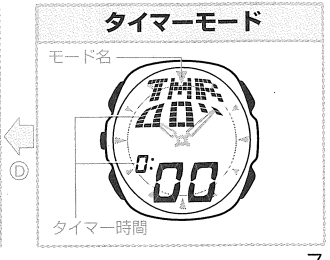
Ⓓ

アラームモード



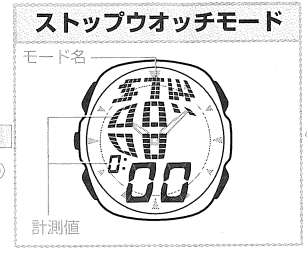
Ⓓ

タイマーモード



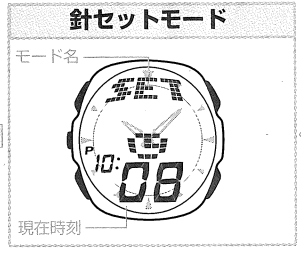
Ⓓ

ストップウオッチモード



Ⓓ

針セットモード



Ⓓ

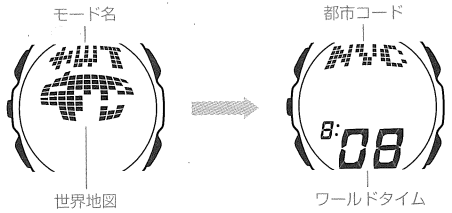
ワールドタイムの使い方

Ⓓボタンを押して、ワールドタイムモードにします。

■ワールドタイムとは

世界27都市（29タイムゾーン）の時刻を知ることができる機能です。

ワールドタイムモードに切り替えると、前回選んだ都市の時刻を表示します。



時刻・カレンダーモードでホームタイムおよび都市コードをセットすると、時差にしたがい他の都市の時刻も自動的にセットされます。

※ワールドタイムの「秒」はホームタイムの「秒」に連動しています。

※ホームタイムを24時間制にしているときは、ワールドタイムも自動的に24時間制で表示されます。

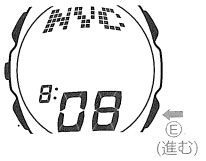
■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき、

Ⓔ ボタンを押します

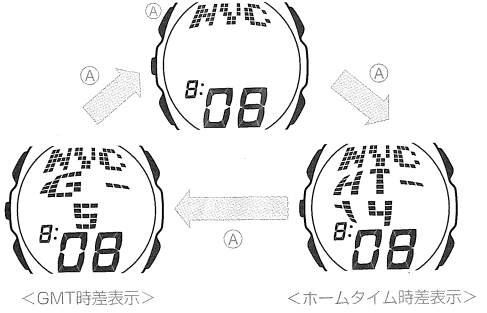
➡Ⓔ ボタンを押すごとに都市コードが進み、各都市の時刻が表示されます。

※押し続けると早送りします。



★表示切替について

Ⓐボタンを押すごとに表示内容が切り替わり、ホームタイムとの時差、世界標準時（GMT）との時差を表示します。



■サマータイム（DST）について

サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

■サマータイムのON／OFF設定

準備：ワールドタイムモードのとき、Ⓔ ボタンを押して、設定したい都市を選びます。

Ⓐ ボタンを１～２秒間押します

➡Ⓐボタンを1～2秒間押すごとにサマータイムのON／OFFが切り替わります。

※サマータイムがONのときは、“DST”マークが点灯して、通常の時刻より1時間早まります。

※各都市ごとにサマータイムを設定することができます。ただし、“GMT”表示のときはサマータイムの設定はできません。



■ホームタイムとワールドタイムの入れ替え

ホームタイムと任意のワールドタイムを簡単に入れ替えることができます。

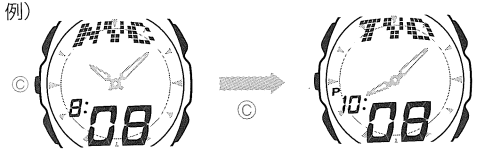
旅行先で一時的に表示を替えて時刻・日付・曜日を見たり、アラームを鳴らすときなど便利です。

準備：ワールドタイムモードのとき、Ⓔ ボタンを押して、入れ替えたい都市を選びます。

Ⓒ ボタンを１～２秒間押します

➡確認音が鳴り、ワールドタイムとホームタイムが入れ替わります。

例）



ホームタイム「TYO午後10:08」とワールドタイム「NYC午前8:08」を入れ替える

ホームタイムが「NYC午前8:08」、ワールドタイムが「TYO午後10:08」になる

※時刻の入れ替えを行なうと、アナログ部の時刻も自動的に修正されます。

※針は送り（正転方向）または戻し（逆転方向）で修正されます。

※針の修正中は、世界地図が表示されます。

■都市コード一覧

都市コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市	都市コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市
― ― ―		−11	パゴパゴ	CAI	カイロ	+2	アテネ、ヘルシンキ、
HNL	ホノルル	−10	パペーテ	JRS	エルサレム		ベイルート
ANC	アンカレジ	−9	ノーム	JED	ジッダ	+3	クウェート、モスクワ
LAX	ロサンゼルス	−8	サンフランシスコ、ラスベガス、シアトル	THR	テヘラン	+3.5	
				DXB	ドバイ	+4	アブダビ
DEN	デンバー	−7	エルパソ、エドモントン	KBL	カブール	+4.5	
CHI	シカゴ	−6	ヒューストン、メキシコシティ	KHI	カラチ	+5	
				DEL	デリー	+5.5	
NYC	ニューヨーク	−5	モントリオール、マイアミ、ボストン	DAC	ダッカ	+6	
				RGN	ヤンゴン	+6.5	
CCS	カラカス	−4	サンティアゴ	BKK	バンコク	+7	ジャカルタ、ハノイ
RIO	リオデジャネイロ	−3	サンパウロ、ブエノスアイレス	HKG	ホンコン（香港）	+8	シンガポール、クアラルンプール、北京、台北、マニラ
― ― ―		−2					
― ― ―		−1	アゾレス諸島	TYO	東京	+9	ソウル、平壌
GMT		±0	<グリニッジ標準時>	ADL	アデレード	+9.5	
LON	ロンドン	±0	ダブリン	SYD	シドニー	+10	グアム
PAR	パリ	+1	ローマ、マドリード、フランクフルト	NOU	ヌーメア	+11	ポートビラ
				WLG	ウェリントン	+12	クライストチャーチ

※この表は2000年12月現在作成のものです。
※この表の時差はグリニッジ標準時（協定世界時：UTC）を基準としたものです。

データバンク機能の使い方

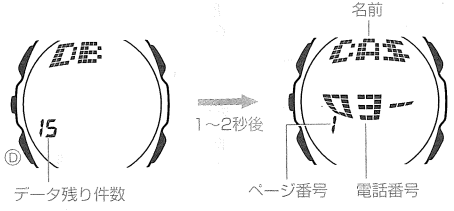
Ⓓボタンを押して、データバンクモードにします。

■データバンク機能とは

名前と電話番号を同時に記憶できる機能です。
本機は、名前８文字、電話番号12桁のデータを最大20件まで記憶できます。

データを入力すると、名前順に並び替わりますので、データを探すときもたいへん便利です。（13ページ「データの呼び出し」参照）

データバンクモードに切り替えると、データ残り件数を表示後、前回このモードで最後に見たデータを表示します。



データバンクにはあらかじめ「OFFICE」、「HOME」、「FAMILY」（名前部のみ）がセットされています。
※このデータは修正および消去することもできます。

■データを入力する

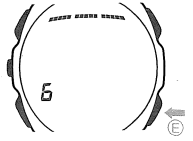
１件あたり、名前は８文字、電話番号は12桁まで入力できます。

(1)空きページ表示にする

Ⓔボタンを押します

➡ Ⓔボタンを押して空きページ表示を探します。

※空きページは入力してあるデータの最後に表示されます。



＜空きページ表示＞

〈ご注意〉
20件すべて入力してあるときは“FUL”と表示されて、空きページ表示になりません。14ページ「データ消去」を参照して不要なデータを消しておいてください。

(2)データ入力をはじめる

Ⓐボタンを１～２秒間押します

➡ 名前部１桁目が点滅します。

※点滅表示のまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。



(3)名前部の入力（最大８文字まで）

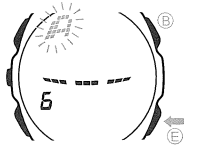
名前部が点滅しているとき、以下の操作を繰り返して入力します。

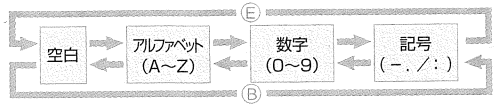
文字を選ぶ Ⓔ または Ⓑ ボタンを押します

Ⓔボタンを押すごとに点滅箇所の文字が以下の順でかわりますので、表示させたい文字を選びます。

※Ⓑ ボタンを押すと逆方向に進みます。

※Ⓔ・Ⓑボタンとも、それぞれ押し続けると早送りします。





桁を選ぶ Ⓓ ボタンを押します

Ⓓボタンを押すごとに点滅箇所の桁が右に移動しますので、文字を入力したい桁を点滅させます。

※押し続けると点滅箇所が早く移動します。

➡名前部の入力が終わりましたら、Ⓓボタンを押して点滅桁を電話番号部に移動させます。



(4)電話番号部の入力（最大 12 桁まで）

電話番号部が点滅しているとき、以下の操作を繰り返して入力します。

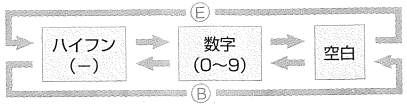
数字を選ぶ Ⓔ または Ⓑ ボタンを押します

Ⓔ ボタンを押すごとに点滅箇所に数字が表示されますので、表示させたい数字を選びます。

※Ⓑ ボタンを押すと逆方向に進みます。

※Ⓔ・Ⓑボタンとも、それぞれ押し続けると早送りします。

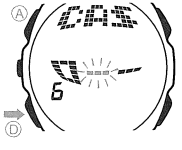




桁を選ぶ Ⓓ ボタンを押します

Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の桁が右に移動しますので、数字を入力したい桁を点滅させます。

※押し続けると点滅箇所が早く移動します。



(5)セットが終わりましたら、

Ⓐ ボタンを押します

➡“SORT” 表示後、データバンクモードに戻ります。

※セット後、Ⓐボタンを押すと自動的に名前の先頭から比較し、「空白→アルファベット→数字→記号（－.／：）」の順で並び替わります。

※続けて他のデータを入力したいときは、(1)～(5)の操作を繰り返し行ないます。

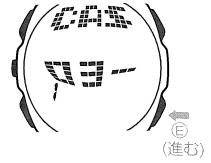
■ データの呼び出し

データバンクモードのとき、

Ⓔ ボタンを押します

➡Ⓔボタンを押すごとに、セット後に並び替えられた順番に進みます。

※押し続けるとデータが早く進みます。



＜スクロール表示＞

●名前が4文字以上のときは、文字が横に流れる「スクロール表示」となります。(データの最後に“<”マークがつきます)

●電話番号も４文字以上のときは「スクロール表示」となります。(最後の文字を表示すると、１秒間スクロールが止まり、再び先頭の文字から表示します)

●スクロール中にⒸボタンを押すと、表示が止まります。もう一度Ⓒボタンを押すと、スクロールを再開します。

■ データの修正／消去

1. Ⓔ ボタンを押して修正／消去したいデータを選びます

2. Ⓐ ボタンを１～２秒間押して、入力表示にします

●データ修正→ Ⓓ ボタンで修正したい箇所に点滅を移動させ、Ⓔ・Ⓑ ボタンで正しい文字・数字を表示させます。

●データ消去→ Ⓔ・Ⓑ ボタンを同時に押します。確認音が鳴り、“CLEAR” 表示後、データが消去されます。

※データ消去後、引き続きデータ入力ができます。
※点滅表示のまま２～３分すると、自動的に点滅が止まり、データバンクモードに戻ります。

3. 修正／消去が終わりましたら、Ⓐ ボタンを押して点滅を止めます

アラーム・時報の使い方

Ⓓ ボタンを押して、アラームモードにします。

アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間の電子音で知らせます。アラームは５本あり、いずれも同じ使い方ができます。
また、毎正時（00分）に時報を鳴らすこともできます。

■ アラーム時刻のセット

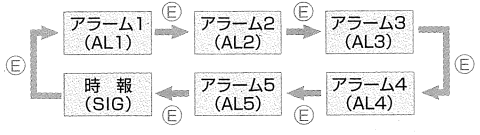
(1)アラーム番号を選ぶ

アラームモードのとき、

Ⓔ ボタンを押します

➡ Ⓔ ボタンを押すごとに、以下の順で表示が切り替わりますので、セットしたいアラーム番号を選びます。





(2)セット状態にする

Ⓐ ボタンを１～２秒間押します

➡「時」が点滅します。
※ このときアラームマーク “ALARM” が点灯します。



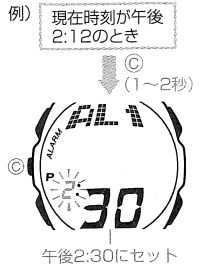
★アラーム時刻の簡易セット

表示が点滅しているとき、以下のa.またはb.の操作を行なうと、アラーム時刻を簡単にセットすることができます。

a. Ⓒ ボタンを１～２秒間押します

➡ 確認音が鳴り、現在時刻から最も近い正時（00分）または30分の時刻にアラームがセットされます。

例）現在時刻が午後2:12のとき



b. Ⓒ ボタンを押します

➡ Ⓒ ボタンを押すごとに、30分ずつ数字が進みます。

(3)セット箇所を選ぶ

Ⓓ ボタンを押します

➡点滅箇所が以下の順で移動します。点滅箇所がセット可能ですので、Ⓓ ボタンを押してセットしたい箇所を選びます。



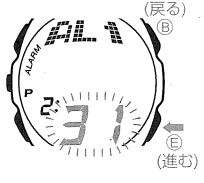


(4)点滅箇所のセット

Ⓔ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓔ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※Ⓔ・Ⓑ ボタンとも、それぞれ押し続けると早送りします。



Ⓓボタンを押して点滅箇所を移動させ、ⒺまたはⒷボタンを押してセットする操作を繰り返します。

※「時」のセットのとき、午前／午後（P）または24時間制にご注意ください。

※ホームタイムを24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。

(5)セットが終わりましたら、

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。

■鳴っている電子音を止めるには

電子音が鳴っているときに、ⒶⒷⒸⒹⒺボタンのいずれか1つを押すと、音が止まります。

■モニターアラーム

アラームモードのときにⒺボタンを押し続けると、押し続けている間、電子音が鳴ります。

■アラーム・時報のON／OFF設定

準備：アラームモードのとき、Ⓔボタンを押して、鳴らしたいアラーム番号を選びます。
また、時報を鳴らしたいときは時報（SIG）表示を選びます。

Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓐボタンを押すごとに、マークが点灯／消灯します。それぞれのマークが点灯しているときがONとなり、アラーム・時報が鳴ります。

※アラーム時刻のセットを行なうと、自動的にアラームONに設定されます。

※針の自動修正中は、アラーム・時報は鳴りません。

<アラーム2表示>



アラームマーク

<時報表示>



時報マーク

タイマーの使い方

Ⓓ ボタンを押して、タイマーモードにします。

タイマーは１分単位で24時間までセットでき、セットした時間を経過（タイムアップ）すると10秒間の電子音で知らせます。
また、タイムアップ後も自動的に計測を繰り返すオートリピートタイマーとしても使えます。

■ タイマーの種類

本機のタイマーは以下の２種類があり、使い方に合わせてお好きな方を選ぶことができます。

●リピートタイマー（繰り返し計測）
タイムアップすると計測が止まります。10秒後にタイマー時間表示に戻ります。

●オートリピートタイマー（自動繰り返し計測）
タイムアップしても、計測ストップするまで自動的に同じ時間を繰り返し計測します。
※オートリピートタイマーのときは“ ”マークが点灯します。

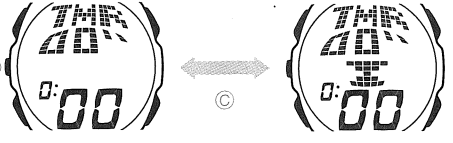
■ タイマーの選び方

タイマーモード（計測リセット状態）のとき、

Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒボタンを押すごとにリピートタイマーとオートリピートタイマー（“ ”点灯）が切り替わります。

<リピートタイマー>　<オートリピートタイマー>



■ タイマー時間のセット

(1)セット状態にする

Ⓐ ボタンを１～２秒間押します

➡「時」が点滅します。



★タイマー時間の簡易セット

表示が点滅しているとき、以下のa.またはb.の操作を行なうと、タイマー時間を簡単にセットすることができます。

a. Ⓒ ボタンを１～２秒間押します

➡確認音が鳴り、タイマー時間が0:00（24時間）にセットされます。



b. Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒボタンを押すごとに、15分単位で数字が進みます。

(3)セット箇所を選ぶ

Ⓓ ボタンを押します

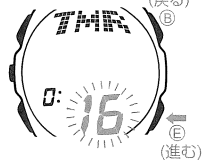
➡点滅箇所が以下の順で移動します。点滅箇所がセット可能ですので、Ⓓ ボタンを押してセットしたい箇所を選びます。





(4)点滅箇所のセット

Ⓔ または Ⓑ ボタンを押します



➡Ⓔ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。
※Ⓔ・Ⓑ ボタンとも、それぞれ押し続けると早送りします。

Ⓓ ボタンを押して点滅箇所を移動させ、ⒺまたはⒷボタンを押してセットする操作を繰り返します。

※タイマー時間を24時間に設定するときは、表示を“0:00”にします。

(5)セットが終わりましたら、

Ⓐ ボタンを押します

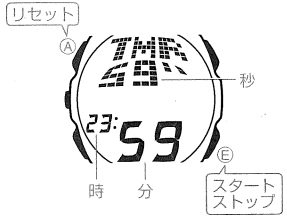
➡点滅が止まり、セット完了です。
※点滅表示のまま２～３分すると、自動的に点滅が止まります。

■ タイマーの使い方

タイマーモードのとき、

Ⓔ ボタンを押すごとに計測開始／終了します

※計測は 1 秒単位で行ないます。
※計測ストップ後Ⓐボタンを押すと、計測前の表示に戻ります。
※ロスタイムがあるときは、Ⓔ ボタンでストップ後、もう一度 Ⓔ ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。



■ タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10 秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

■ 鳴っている電子音を止めるには

電子音が鳴っているときに、ⒶⒷⒸⒹⒺボタンのいずれか 1 つを押すと、音が止まります。

ストップウオッチの使い方

Ⓓボタンを押して、ストップウオッチモードにします。

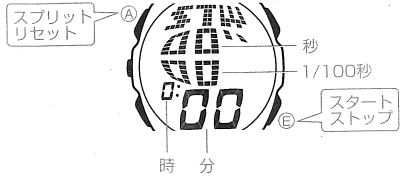
本機のストップウオッチは、1/100秒単位で23時間59分59秒99(24時間計)まで計測できます。計測時間がこの計測範囲を超えると、以後0に戻って繰り返し計測を続けます。

■ 計測のしかた

ストップウオッチモードのとき、

Ⓔ ボタンを押すごとに計測開始／終了します

※計測中にⒶボタンを押すと表示が止まり*、スプリットタイムを表示します。もう一度Ⓐボタンを押すと、スプリットが解除されます。
* スプリットタイム表示中でも内部では計測を続けています。
※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。



●通常計測

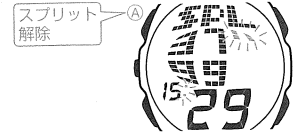
Ⓔ → Ⓔ → Ⓐ
スタート　ストップ　リセット

<積算計測>
ロスタイムのある場合は、ストップ後リセットせずにⒺボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム計測（途中経過時間計測）

Ⓔ → Ⓐ → Ⓐ → Ⓔ → Ⓐ
スタート　スプリット　スプリット解除　ストップ　リセット

<スプリット表示中>



●1・2着同時計測

Ⓔ → Ⓐ → Ⓔ → Ⓐ → Ⓐ
スタート　1着ゴール（1着タイム表示）　2着ゴール　2着タイム表示　リセット

時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで、時刻・カレンダーが合っていないときは、以下の手順で合わせてください。

■ デジタル部時刻の合わせ方

(1)セット状態にする

時刻・カレンダーモードのとき、

Ⓐ ボタンを1～2秒間押します

➡都市コードが点滅します。



(2)ホームタイム都市の設定

Ⓔ または Ⓑ ボタンを押します

➡ⒺまたはⒷボタンを押すごとに都市コードが切り替わります。(10ページ「■都市コード一覧」参照)

※ Ⓔ・Ⓑ ボタンとも、それぞれ押し続けると早送りします。

例)

東京(日本)の時刻に合わせるときは、都市コードを"TYO"に設定します

(3)「秒」合わせ…±30秒以内の遅れ／進みの調整

Ⓓ ボタンを押します

➡「秒」が点滅します。



時報に合わせて、Ⓔ ボタンを押します



➡「00秒」からスタートします。

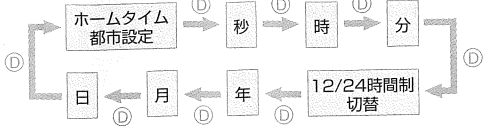
※秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分くりあがって「00」秒になります。(時報は「時報サービス電話117番」が便利です)

(4)「時刻・カレンダー」合わせ

a. **Ⓓ ボタンを押します**

➡点滅箇所が以下の順で移動します。点滅箇所がセット可能ですので、Ⓓ ボタンを押してセットしたい箇所を選びます。





b. **Ⓔ または Ⓑ ボタンを押します**



➡Ⓔ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓔ・Ⓑ ボタンとも、それぞれ押し続けると早送りします。

Ⓓ ボタンを押して点滅箇所を移動させ、Ⓔ または Ⓑ ボタンを押してセットする操作を繰り返します。

※ 12/24時間制切替は、Ⓔ ボタンを押すごとに12時間制表示と24時間制表示が切り替わります。

※「時」のセットのとき、午前／午後(P)または24時間制にご注意ください。

※「年」は2000年～2039年までセットできます。

※ 年月日を正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。

※ カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は直す必要はありません。

★サマータイム(DST)の設定

「年月日」以外が点滅しているとき、

Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、サマータイムのON／OFFが切り替わります。



※サマータイムをONにすると、通常の時刻より1時間早まります。(サマータイムについては9ページ参照)

(5)セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。

＜シンクロ機能＞

- デジタル部の時刻を修正すると、アナログ部の針も自動修正されます。
- 針の修正はデジタル部の修正に合わせて送り（正転方向）または戻し（逆転方向）されます。
- 針の修正は、デジタル部の修正時刻によって時間がかかることがあります。

■アナログ部（針）の合わせ方

アナログ部の時刻とデジタル部の時刻が合っていないときは、針セットモードで合わせてください。

(1)セット状態にする

針セットモードのとき、

Ⓐ ボタンを1～2秒間押します

➡「時・分」が点滅します。

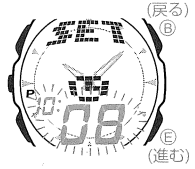


(2)アナログ部を合わせる

Ⓔ または Ⓑ ボタンを押します

➡ Ⓔ ボタンを押すごとに時計回りに1/3分（20秒）ずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓔ・Ⓑ ボタンとも、それぞれ押し続けると早送りします。



＜針の自動早送り＞

- Ⓔ ボタンを押し続けて早送り中に Ⓑ ボタンを押すと、ボタンを離しても針が進み続けます。
- Ⓑ ボタンを押し続けて早送り中に Ⓔ ボタンを押すと、ボタンを離しても針が戻り続けます。
- 自動早送りは時針が一回りするか、いずれかのボタンを押すと止まります。

(3)セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。

memo

memo

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz

精　　度：平均月差±15秒以内

基本機能：時刻表示
アナログ部　時・分（2針）
デジタル部　時・分・秒、
午前/午後(P)/24時間制表示
カレンダー表示
月・日・曜日、
フルオートカレンダー(2000~2039年)

ワールドタイム機能：世界27都市（29タイムゾーン）の時刻を表示
サマータイム設定機能付き
ホームタイムとワールドタイムの入れ替え機能

データバンク機能：名前(8文字)と電話番号(12桁)を最大20件までメモリー、自動ソート機能、残り件数表示

アラーム機能：時刻アラーム　5本　セット単位＝分
電子音＝20秒間
簡易アラームセット機能(30分単位)
時報　毎正時に2回電子音で報時

タイマー機能：セット単位＝1分
計測単位＝1秒
計測範囲＝24時間
タイムアップを10秒間の電子音で報知、
リピートタイマー/オートリピートタイマー、
簡易タイマーセット機能(15分単位)

ストップウオッチ機能：計測単位＝1/100秒
計測範囲＝23時間59分59秒99
(24時間計)
計測機能＝通常計測、積算計測、
スプリットタイム計測、
1・2着同時計測

その他：自動復帰機能、
12/24時間制表示切替、
サマータイム設定機能、モニターアラーム、
デモ機能、ELバックライト

主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子、
ワンチップCMOS-LSI

使用電池：SR927W×2（電池別途販売）
※電池はカシオ指定のものをご使用ください。

電池寿命：約2年
（1日あたりELバックライト1.5秒間、電子音を20秒間使用した場合）
※ただし、ライト使用条件により、電池寿命が短くなることがあります。
• 1日当たりライト15秒間使用
…約18ヶ月

ご使用上の注意

■防水性

● **表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。**

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

※「BAR」は気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※ 専門的な潜水＝スキューバダイビング（アクアラング）でのご使用はお避けください。

● **表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。**
防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

● 防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。

● 防水構造の機種はシャワー程度の温水では使用できますが、入浴等で長時間使用することはお避けください。

● 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。

● 防水性を保つために定期的（2～3年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。

● 電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。（特殊な治具を必要とします）

● 防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

■バンド

● バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

● 樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。

● 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

■温度

● 自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。

● ＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

■ショック

● 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。

■磁気

● 家庭用電気製品（テレビなど）程度の磁気には影響ないように耐磁構造をとってありますが、強い磁気を発生する器具に近づけると一時的に遅れ/進みが生じることがあります。

■薬品類

- 水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■抗菌防臭バンドについて

抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■塗装商品のお取り扱いについて

塗装部品を使用しているものは、以下の点にご注意ください。

- 塗装部品は使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗したり、色落ちすることがあります。
- 塗装部品の交換は、最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。実費にて申し受けます。

■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと、数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■ELパネル（表示照明部）の交換について

表示照明用として本機に使用しているELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときにはお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■データ保護について

電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
なお、大切なデータは備忘録やノートなどに控えをとっておいてください。

万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■お手入れのしかた

- 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
- 金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

■お手入れを怠ると

- 「サビ」
  - ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
    ※ 汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
  - 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。
- 「劣化」
  - 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。
- 「かぶれ」
  - 皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。
  - 万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

■最初の電池

- 工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

※ モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
※ 電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

■消耗

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

■電池交換

- 電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行ないます。（防水検査は別途有料となります）